



成果指標				
成果指標	開催回数			
指標設定の考え方	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議するものであり、必要に応じて開催するため開催回数を指標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標25年度
目標	1	2	0	0
実績	1	1	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	国保税率等を決定するための重要な協議会であることから、資料作成に当たっては、過去の推移及び各種データを分析するほか、国(県)の動向を把握する必要がある。また、分かりやすい説明に心がける必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	健全な国保事業の運営をするために制度上必要な協議会のため、委員へわかりやすい資料による説明を心がけ国保制度に対する理解を深めながら、目的に沿った会議の開催と運営を行っていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	国保税収納率の見通し、療養給付費等の見通し、一般会計繰入金金額確定、国保事業の運営状況等を報告、審議するため、1月～2月頃に第2回審議会の開催を検討する。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。